

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	228	2年	後期	看護学科	必修	精神看護対象論 Psychiatric and Mental Health Nursing	15	1
担当教員								
中平	洋子							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	○ ③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	○ ④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>精神看護の対象となる人々の回復を支えるために活用できる理論を学ぶ。</p> <p>また、精神疾患の発症や障がい対象者（家族）の日常生活・社会生活にどのような影響を与えているか、どのように疾患や障害と付き合いながら生活しているか、どのような希望・目標を持ちながら生活しているかについて理解する。</p>								
到達目標（授業目標）								
<p>1 精神看護を行う上で有用な理論について説明できる。</p> <p>2 精神疾患の発症や障がい対象者（家族）の日常生活や社会生活にどのような影響を与えているか説明できる。</p> <p>3 対象者がどのように疾患や障害と付き合いながら生活しているか説明できる。</p> <p>4 対象者がどのような希望・目標を持って生活しているか説明できる。</p>								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	<p>授業ガイダンス</p> <p>精神看護を行う上で有用な理論①（中平洋子）</p>							
2回	<p>精神看護を行う上で有用な理論②（中平洋子）</p>							

3回	当事者の体験理解の準備①（中平洋子）								
4回	当事者の体験理解の準備②（中平洋子）								
5回	当事者の体験理解①（中平洋子、教育協力者）								
6回	当事者の体験理解②（中平洋子、教育協力者）								
7回	当事者の体験理解③（教育協力者、中平洋子）								
8回	当事者の体験理解の共有（中平洋子）								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
最終レポート（70%）、3回目の事前学習（10%）、授業への参加状況（20%：5-7回のミニレポート含む）。トータル60点以上を合格とする。									
教科書									
参考図書等	野嶋佐由美「明解看護学双書3 精神看護学 第3版」（金芳堂）								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
1～2回目：理論について予習をして出席すること。									
3回目：当事者体験を聞くにあたり事前学習を行い、理解を深めたい内容を明確にして出席すること。									
関連科目									
前科目	159 臨床病態学Ⅳ	227	メンタルヘルス論	240	看護アセスメントⅠ	232	家族看護論		
後科目	229 精神看護方法論	230	精神看護学実習						
実務家教員									
保健師（行政機関）	中平 洋子								
備考	当事者を教育協力者としてお迎えし、直接体験を聞き、疑問を解決する機会を設ける。								